

医療通訳を養成

シンクタンクがセミナー

五輪にらむ

医療関連シンクタンクのジェイ・アイ・シー・エイチ（JIGH、東京・港）は医療機関での英語通訳を養成するセミナーを開く。「頭痛」「腹痛」など病状ごとに必要な通訳スキルの習得につなげる。2020年の東京五輪に向けて訪日外国人の増加が見込まれており、医療現場の外国人対応を強化する。

セミナーは全7回。各回では病状別のほか、小

児科など診療科に合わせた知識を集中的に学ぶ。初回は今月21日で、医療通訳の基本的な技術を紹介する。講師は医療通訳の教育に携わる日本人と外国人の医師が務める。東京都の助成を受けており、セミナーの参加費は無料。JIGHは電話を使った医療通訳サービスなどを手掛ける。